

事業者排出量削減報告書

（宛先） 京都府知事		令和 5年 6月 20日					
報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）		報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名）					
大阪市西区新町2丁目15番27号		サンキン株式会社 代表取締役社長 田 貴晴 電話 06-6539-3200					
主たる業種	冷管引抜鋼管及びステンレス鋼管の製造						
	細分類番号	2	2	3	7		
事業者の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 第12条第1項第1号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第2号又は第3号 <input type="checkbox"/> 第12条第1項第4号						
計画期間	令和2年4月から令和5年3月まで						
基本方針	基準年度を基準に温室効果ガス排出量を年平均1%以上削減する。						
計画を推進するための体制	トップダウンにより地球温暖化対策の実施計画を策定し、例月の進捗管理システムを継続維持する。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (29～1)年度	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	3,918.1 トン	3,365.5 トン	4,040.3 トン	3,562.9 トン	-6.7 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	4,095.3 トン	3,365.5 トン	4,040.3 トン	3,562.9 トン	-10.7 パーセント	
	実績に対する自己評価	この3年間は受注量が低下した時期もあり、設備の稼働時間が減少したため、温室効果ガスの排出の量も減少傾向であった。エア漏れ撲滅、コンプレッサの運転台数のこまめな管理等を今後も行い無駄なエネルギー消費を無くしていきたい。					
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (1)年度	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	増減率
	工場	事業活動に伴う排出の量 (2工場の合計換算生産量[kt])	79.77	76.00	81.39	76.44	-2.29 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ( )					パーセント
		実績に対する自己評価	第2年度に原単位が悪化してしまったが、3年間では減少している。今後も設備改善、エア漏れ撲滅等を行い、生産性の向上、歩留まり向上、不適合品低減により無駄なエネルギーの削減に努め、原単位の改善をしていきたい。				
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (1)年度	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	備考	
		63.0 パーセント	63.0 パーセント	63.0 パーセント	63.0 パーセント		
具体的な取組及び措置の内容	(2)年度	福知山工場では、廃水処理棟及び計量室の天井灯をLED化し、第1工場エア配管末端のループ化をした。長田野工場では第1工場の天井灯をLED化した。					
	(3)年度	福知山工場内の第1工場で砥石切断機を鋸刃切断機へ更新したことで、バグフィルター集塵機（22kW）を撤去した。また、福知山工場内のPIC工場の天井灯をLED化した。					
	(4)年度	福知山工場では、4号抽伸機の後工程をライン化し生産性を向上させて効率的な生産をできるようにした。長田野工場では場内エア配管ループ化、事務所棟の照明をLED化を実施した。					
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	特に実施しておりません。					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	工場周辺に電車やバス等の公共機関の本数が少ないために通勤、退勤においてマイカー以外での移動が困難である。					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区分	第1年度 (2)年度	第2年度 (3)年度	第3年度 (4)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの						
	地域産木材の利用によるもの						
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの						
	グリーン電力証書等の購入によるもの						
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量の購入によるもの						
	合計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	行政及び工業団地内で主催されるエネルギー・廃棄物等、環境に関する講習会、環境保全活動に積極的な参加及び協力実施する。自社にてライトダウンデーを実施する。						
特記事項	第4計画期間より原単位の指標において分母の値を高付加価値製品を考慮した換算生産量に見直しております。2012年度をベースに算出しており、長田野工場換算生産量は福知山工場で考えた場合の生産量に換算しております。以上より、【2工場の合計換算生産量[kt]】が分母の値となっています。						

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。  
 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。  
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。  
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。  
 5 「重点的に実施する取組の実施状況」とは、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施した取組の実施率を地球温暖化対策指針で定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。